

第21回滋賀県首長会議提案テーマ一覧（項目一覧）

整理番号	テーマ名	提案団体
①	コロナ禍の出口作戦について	湖南市
②	「CO2ネットゼロ社会づくり」の推進について	滋賀県

第21回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①コロナ禍の出口作戦について	
湖 南 市	<p>現在、新型コロナウイルス感染症は依然として猛威を振るっており、滋賀県においても8月には緊急事態宣言が発令されるなど、新規感染者の増加や病床使用率の上昇等による医療体制のひっ迫が深刻化している。</p> <p>このような状況の中、県下では多くの皆さんの協力のもと、ワクチン接種を進めてきたが、今後もこのウイルスと共生しながらも、たとえばワクチンパスポートの発行や飲食店などを応援する施策など、次の一手を打つことが必要な時期にさしかかっている。</p> <p>コロナ禍の出口作戦として、社会経済活動を早期に回復させるために、どのような方針や施策が必要であるのか意見交換したい。</p>
②「CO2ネットゼロ社会づくり」の推進について	
滋 賀 県	<p>世界的に脱炭素化の潮流が加速する中、国では、菅首相が本年4月に2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標を表明され、本年5月には温室効果ガスを2050年までに実質ゼロにする目標を明記した改正地球温暖化対策推進法(改正温対法)が成立したところ。これを受けて、国では、エネルギー基本計画や地球温暖化対策計画の改定も予定されている。</p> <p>本県では、こうした国の動きを先取りし、昨年1月に「しがCO2ネットゼロ」ムーブメントのキックオフ宣言を行い、全庁を挙げて取組を強化しているところであり、本年度中を目途に「(仮称)滋賀県CO2ネットゼロ社会づくり推進条例」および「(仮称)滋賀県CO2ネットゼロ社会づくり推進計画」を策定する予定である。条例・計画は、CO2ネットゼロ(温室効果ガス排出量実質ゼロ)を目指す取組を通じて地域の持続的な発展をも実現し、より豊かな滋賀を次の世代に引き継ぐための指針となるよう、県民や事業者、各種団体等と丁寧に意見交換を重ねながら検討を進めており、本年9月頃に「素案」を公表させていただきたいと考えている。</p> <p>「CO2ネットゼロ社会づくり」には、それぞれの地域の実情に合った進め方が肝要であり、それには、市町の主体的な取組が必要不可欠となることから、県の条例・計画の「素案」をより地域の実情に沿った内容にするためにも、まずは市町の皆様との忌憚のない意見交換を行わせていただきたい。</p> <p>また、本年6月に「国・地方脱炭素実現会議」において示された『地域脱炭素ロードマップ』の実現に向け、2030年までに全国で少なくとも100カ所の「脱炭素先行地域」を創出するといった目標達成のため、具体的な支援策として、国から地方への複数年度にわたる継続的な資金支援の検討などが進められており、令和4年度予算の概算要求にも盛り込まれているところである。こうした「脱炭素先行地域」への応募も視野に入れつつ、各市町においてCO2ネットゼロ社会の実現に向けた積極的な取組を行っていただくよう、併せてお願いしたい。</p>